

北海道社会保険病院だより

平成22年6月発行 第44号

発行・編集 北海道社会保険病院 企画室

長く持続する咳

—あなたの咳の原因は咳喘息かもしれません

呼吸器センター長 秋山 也寸史



少し風邪っぽいかなと感じた後、咳だけが数週間も持続したことはありませんか？あるいは、花粉の舞う時期にあまりはつきりした風邪の症状がないにもかかわらず咳が数週間持続し、毎年同じ時期に繰り返すという様な症状をお持ちではないでしょうか？このような場合、あなたの咳の原因は咳喘息かもしれません。

咳喘息は、慢性的に咳が持続する疾患で、通常の気管支喘息と同様に気管支が様々な刺激に対して過敏となることから生じます。しかし、気管支喘息では発作のとき気管支が狭

くなりますので、喘鳴（呼吸に伴って胸の中でヒューヒュー音がすること）や呼吸困難感を伴うのに対して、咳喘息ではこれらの症状はありません。咳喘息は空気中のダニ、ハウスダスト、花粉、動物の毛等のアレルギーを生ずる物質、タバコの煙、空気の温度差の刺激等が原因となるといわれており、患者数は最近非常に増加しています。まず、胸部X線写真やCTにて、肺炎、肺結核、肺非結核性抗酸菌症、慢性閉塞性肺疾患、肺癌等咳の原因となる他の疾患がないことを確かめる必要があります。

治療ですが、通常の鎮咳剤（せきどめ）は一般的にあまり効果がなく、吸入ステロイド剤や気管支拡張剤等気管支喘息で使用する薬剤が有効です。早期から吸入ステロイド剤を使用することは特に重要で、気管支拡張剤だけでは気道のアレルギー性炎症を十分に抑えることができず、喘鳴や呼吸困難感を伴った気管支喘息に移行することがあります。

不整脈のお話

心臓血管センター 心臓内科医長 石丸伸司



心臓は、通常1分間に60～80回くらいの速さで動いています。不整脈は、脈が遅くなる徐脈と速くなる頻脈に大別されます。

徐脈のなかでも、リズムを創っている一番大切な中枢である洞結節の異常では、「洞不全症候群」を起こします。また伝導路に障害が起こる「房室ブロック」がありますが、何れの疾患も脈が極めて遅くなったり止まったりして心停止を招くことがあります。

頻脈は、心臓の中で異常が起こる場所などによってさまざまに分類されます。心室で起こる頻脈のうち、心室が細かく痙攣する「心室細動」は、もっとも致命的な不整脈で、心

臓が血液を送り出せなくなるため、緊急に処置をしなければ生命の危険があります。また、心室の興奮が続いた状態になる「心室頻拍」でも、早期に適切な加療が行われなければ心室細動に移行して突然死する危険があります。

心房が不規則にふるえる「心房細動」は、通常急死することはありませんが、心臓の中で血流が停滞し、血栓ができやすくなります。形成された血栓が脳塞栓症の原因となることがある不整脈です。「期外収縮」では、脈が抜けたり、飛んだりします。

当院では以前より徐脈性不整脈に対してペースメーカー治療を行って

きましたが、2009年からは、生命にかかわる「心室細動」、「心室頻拍」などの頻脈性不整脈に対して埋込型除細動器の手術を行っています。昨年は19名の方が同手術を受けられています。日本では年間約5万人の方が心臓突然死をきたしていると報告されています。動悸を伴う失神やめまいの症状がある場合には心臓内科医師にご相談ください。

また、頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション（心筋焼灼術）も昨年より開始しており、本年はのべ9名の方が治療を受けておられます。こちらも治療の適応については心臓内科医師にご相談ください。

忘れていませんか？・・・健康診断

健診で安心と健やかな人生を・・・

健康管理センター 健診管理課長 斎藤 盛明

平成20年4月から、医療制度改革により、各医療保険者（国保、協会けんぽなど）に対し、40歳から74歳の加入者を対象に、特定健康診査の実施が義務づけられました。（75歳以上の方は、後期高齢者健康診査となります）

ここで、札幌市国保加入者及び協会けんぽの被扶養者の方の特定健康診査の受診方法についてご紹介いたします。

本年4月、各医療保険者から「特定健康診査受診券」（75歳以上の方は、「後期高齢者健康診査受診券」）が送付されています。受診するには、この「受診券」と事前の予約が必要となります。

なお、受診券には受診期限があります。お早めに当センターにて受診されますようご案内いたします。

また、受診に関する詳細は、予約の際にお問い合わせ願います。

健診料金(個人負担)は、各医療保険者によって異なります。受診券に窓口自己負担が明示されていますので、ご参照ください。特定健康診査の検査項目は、身体計測（身長・体重・腹囲）、血圧、血中脂質検査、肝機能検査、血糖検査、尿検査です。

受診前には保健師による問診を行い、検査結果が出てから医師の診察を行っています。この機会にご相談ください。

特定健康診査には、胸部X線、心電図、胃部X線、便検査等が検査対象になっていません。当センターでは、ご希望により別途、検査料金がかかりますが、各種オプション検査（胸腹部CT、内臓脂肪測定、乳がん・子宮がん検査など）を取り揃えています。

その他、受診者の負担を軽減するため、札幌市の胃がん・大腸がん検診、一般検診、日帰りドックとの組合せによるコースの設定もあります。

特定健康診査以外にも、サラリーマンの方を対象とした生活習慣病予防健診等を実施しています。

最新の医療機器を備え、検査精度の管理によりサービス向上を図っています。是非、ご利用ください。

一年に一度は健康診断を受けられ、早期発見と早期治療で将来への安心と健やかな人生を迎えられるようお祈りいたします。

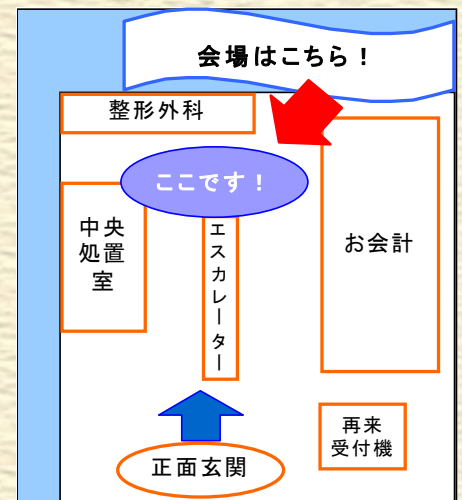
お問い合わせは・・・

健康管理センター 831-2606へ

健康教室のご案内

2010年1月より、健康教室としてリニューアルし、健康全般をテーマに、医師、看護師、薬剤師等がお話をしております。皆さま、ぜひお立ち寄りください。

場所 外来棟 1階
ホスピタルモール(エスカレーター裏)
時間 11:30~12:00
予約 予約はいりません。



どなたでも**無料**でご参加いただけます

6月・7月の予定

6月	16日(水)	17日(木)	18日(金)	22日(火)	23日(水)	24日(木)
7月	21日(水)	22日(木)	23日(金)	27日(火)	28日(水)	29日(木)

※講話内容については案内チラシをご覧ください。

★これまでの講話内容例…

医師／「血糖値が高いと言われたあなたへ～糖尿病とは？」
管理栄養士／「簡単！減塩マジック～これであなたも減塩名人～」
理学療法士／「歩いて健康～ウォーキングのすすめ～」



外来の待合場所が会場です

※次号の発行は8月中旬の予定です。